京都地域大学・短期大学提供科目
シラバス
【2016 年度版】

本書で紹介するシラバスは、2016 年 2 月時点の内容です。科目によっては、3 月以降にシラバス内容の追加・変更が発生している場合がありますので、Web で最新のシラバスも確認するようお願いします。

e 京都ラーニング Web ページ　でのシラバス確認方法
<URL> https://el.consortium.or.jp/

左側メニュー「科目一覧」を選択すると、
「開講科目一覧」ページが表示されます。

提供科目を検索し、シラバスを確認します。
「科目 CD」「開講大学」「科目名」で検索してください。

※e 京都ラーニングのページで、ログイン ID・パスワード入力欄がありますが、早稲田大学学生はログインできません。

※早稲田大学学生が履修できるのは、記載の 32 科目のみです。

グローバルエデュケーションセンター

京都地域大学・短期大学提供科目シラバス

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
1	池坊短期大学	和と美の日本文化	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	松本　公一　他	池坊短期大学	C181	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9月5日(月)～9月9日(金) 1講時10時00分～12時00分 2講時13時30分～15時30分 ※9月5日（月）はガイダンスの為、9時30分開始	・履修決定後に手続き（履修生証発行：要・履修生証用写真）が必要です。履修決定者にはグローバルエデュケーションセンターから連絡をしますので、必ずその指示に従ってください。手続きを行わなかった場合は、履修することができません。 ・2013年度までに「日本文化における花・茶・香」の単位を修得している場合、内容が重複するため履修できません。 ・以下の事前学習の指示があります。 花・茶の湯・香道等について関連する書籍を事前に読んでおく。講義後、内容をまとめておく。		
	内容			
	【成績評価】 平常点　20%　単位認定レポート　80% 【授業テーマ】 茶の湯・いけばな・香道・雅楽等の日本文化の実際を理解・体感する。 【講義概要】 いけばな・茶の湯・香・雅楽・礼法などの日本文化の諸相について、その道の有識者を迎え講義する。また、実演をともなう回もある。 【到達目標】 和・美という日本文化の内容を、芸能・芸道などさまざまな文化事象を通じて理解し、それを自らの言葉で発信することができる。 【授業内容】（以下は、2015年「和と美の日本文化」実施内容） 1. ガイダンス(9：30～)、花・茶・香の系譜とこころ(池坊短期大学 教授 松本公一) 2. 雅楽の宇宙観と可能性（雅楽師　/　池坊学園客員教授　東儀秀樹） 3. もてなしの心（裏千家　今日庵　文庫長　筒井紘一） 4. 弓馬術礼法（弓馬術礼法小笠原流宗家　/　池坊学園客員教授　小笠原清忠） 5. 池坊における花形のあゆみ（華道家元池坊　中央研修学院　教授　東勝行） 6. 座敷の文化（京都美術工芸大学　工芸学部客員教授　日向進） 7. 茶懐石について（株式会社たん熊北店　代表取締役社長　栗栖正博） 8. 香は聞く（志野流香道家元　池坊園客員教授　蜂谷宗玄） 9. いけばなの変遷（華道家元池坊　次期家元　池坊由紀） 10. 中世文化と香（学校法人真宗大谷学園常務理事　大谷高等学校・大谷中学校校長　志野流香道松隠会理事　太田清史） ※講師・内容は調整中 ※全回出席することが大前提。遅刻は20分まで。 それ以後は欠席扱いとなります。10回のうち、4回欠席すると単位認定試験受験資格を失います。 詳細については、講義初日のガイダンスにて説明します。なお、受講態度の悪い者、授業妨害にあたる行為をした者は退席させ改善がみられない場合は、単位を認定しないこともあります。			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
2	大谷大学短期大学部	仏教と美術	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	堅田　理	大谷大学短期大学部	A110	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9月6日（火）～9月8日（木） 2～6講時（10：40～19：30）			

内容

【成績評価】未定（※以下は2015年度実績）
平常点／50／授業への出席と、取り組みの姿勢を評価。
定期試験／50／授業全体についての理解と思考を評価の対象とする。

【授業内容】
荘厳とは、目に見えない仏の世界を形にあらわすことである。仏教に関わる美術や工芸が、寺院の荘厳をどのように実現しているのか、実際にその仕事に携わっている方々を講師として迎え、その技術や思想について学ぶ。そのことを通じて京都の伝統文化のあり方が明らかになる。

【学習到達目標と授業計画】
仏の荘厳は、京都の伝統文化によって支えられ実現している。それらの歴史的・文化的背景を考える講義とともに、実際に京都の伝統文化を支える仕事を行っている方々をゲストとして迎え、文化を支えている現場の生の声と、体験を通じて、机上だけではなく、本物の伝統文化に触れる機会をもつ。そして、それら荘厳に関わる一つ一つの文化が、どのように仏教と関わるのかを考える。

【学習内容／授業方法／準備学習（予習・復習）・時間】
1. 講義の目的と概要：１日目の予習講義―荘厳と伝統文化―／　講義形式で行う。／
　授業内容を正確に把握すること。
2. 仏を造形する仏師の仕事①（冨田工藝：冨田珠雲氏）／　講師による講義と、レリーフ作成の実習。／
　講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
3. 仏を造形する仏師の仕事②（同上）／　講師による講義と、レリーフ作成の実習。／
　講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
4. 数珠の世界（安田念珠店：安田容造氏）／　講義形式で行う。／　講義内容を正確に把握すること。
5. １日目の総括／　小レポートの作成。／　一日の講義を通じて感じ、考えたことを整理する。
6. ２日目の予習講義―本願寺門前町と伝統文化／　講義形式。／　前日の復習と、当日の講義の予習を行う。
7. 京仏具の歴史と技術①（小堀：小堀賢一氏）／　講師による講義と、金箔押しの実習。／
　講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
8. 京仏具の歴史と技術②（同上）／　講師による講義と、金箔押しの実習。／
　講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
9. 香の文化と仏教（松栄堂：畑正高氏）／　講義形式。／　講義内容を正確に把握すること。
10. ２日目の総括／　小レポートの作成。／　一日の講義を通じて感じ、考えたことを整理する。
11. ３日目の予習講義／　講義形式。／　前日の復習と、当日の講義の予習を行う。
12. 京表具の技術と裏打ち体験①（物部画仙堂：物部俊彦氏）／　講師による講義と、裏打ちの実習。／
　講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
13. 京表具の技術と裏打ち体験②（同上）／　講師による講義と、裏打ちの実習。／
　講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
14. 和蝋燭の伝統と朱かけ体験（わた悟：和谷篤樹氏）／　講師による講義と、朱かけの実習。／
　講義内容の把握と実習により感じたことを整理しておくこと。
15. 試験／　講義全般を通じて感じ、考えた内容を整理しておくこと。

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
3	京都大学	食卓の栽培学と実習	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	北島　宣　他	京都大学農学研究科附属農場	G104	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 22 日(月)～8 月 26 日(金) 4 泊 5 日宿泊実習	・以下の指示があります。 本科目は京都大学農学研究科附属農場（京都府木津川市城山台 4-2-1）で開講する宿泊実習である。農作業を行うので、作業に適した服装、帽子、長靴、タオルおよび着替え等を準備すること（更衣室あり）。貴金属の着用は認めない。現地集合、現地解散とし、交通費は各自負担すること。受講決定者は別途負担費用を事前に納入すること。納入方法は受講決定者に通知する。負担費用が期限までに納入されない場合は、受講が取り消される。（寝具レンタル料（4 泊）2,000 円、食費（11 食分）6,000 円） ・実験・実習を対象とする学生保険は、早稲田大学で加入します。		
	内容			
	【成績評価方法】 出席、毎回のレポート、受講態度を総合的に評価する。 【講義概要・到達目標】 食卓にならぶご飯や野菜、果物そして食卓を彩る花々たち。それらはどのようにして作られているのだろうか。食卓からの視点で、おもに食、健康、教育、環境などを学んでいる学生を対象に、講義と実習を通じて農作物の栽培について理解を深めるとともに、食卓にならぶ前の農作物の生育の姿を学ぶ。また講義により、未来の豊かな食を目指したグリーンエネルギーファームについて学び、先端的な農学研究にもふれる。本科目は、本年 4 月にオープンし、先端的な農業施設を整備した新農場（木津川市）で開講する宿泊実習であり、夕食や朝食は農場で生産された農作物などの食材を用い、調理実習室で料理して栽培から食卓に至るまでを学ぶ。 【授業内容】 開始初日：2016 年 8 月 22 日(月) 集合時間：午後 1 時 集合場所：京都大学農学研究科附属農場(木津川市) 1. イネの栽培学：イネの一生、水田生態系の特徴とその観察(講義 1、実習 3 回) (種まきからお米へ、田んぼの不思議、雑草は稲の大敵、田んぼに入ろう！) 2. 果物の栽培学：開花から果実の成熟、果実成分とおいしさ、食味試験(講義 1、実習 3 回) (ブドウやナシはどこに実がなるの？おいしい果物の秘密、果樹園に行こう！) 3. 野菜の栽培学：耕起、畝立て、播種(講義 1、実習 3 回) (なぜ畑を耕すの？品種によって種まきの時期や適地が違うのはなぜ？畑を耕して野菜の種を蒔こう！) 4. 花の栽培学：花卉の繁殖、育苗、鉢栽培(講義 1、実習 3 回) (切花の花持ちはなぜ良くなるの？鉢の水やりと肥料はどうすればいいの？花を咲かせる季節の力、花の苗を増やそう！) 5. 豊かな未来の食を目指して：新品種をつくる(講義 1)、遺伝子組み換え作物(講義 2)、グリーンエネルギーファーム(講義 2)		

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
4	京都学園大学	Web 技術応用	2 年以上	1
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	駒田　忠一	京都学園大学	H139	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 3 日(水)～8 月 6 日(土) 1～4 講時 9 時 30 分～16 時 30 分 ※最終日のみ　1～3 講時 9 時 30 分～14 時 50 分	・以下の事前学習の指示があります。 新聞等のメディアから、新技術・制度等の推移を知ることを心がける。特に、Web ページ記述言語等の仕様の推移を調べ、追加された事項等を把握し、可能ならば試用する。試用できない場合は、仮記述を講義時に確認することとし、記述のみを行う。 ・以下の注意があります。 能動的な姿勢で講義に出席し、他者への迷惑になる行為は慎むこと。		
	内容			
	【成績評価】 授業中に課す課題（70%）および課題 Web ページ作成（30%）により評価する。(課題 Web ページ作成は必修) 【講義概要】 Web アプリケーションを構築するために必要な機能を解説し、Web ページ作成と効果的な Web ページ技法の修得をねらいとする。ホームページを記述する HTML 言語、またホームページ作成ソフトを用いてホームページを作成し、HTML の構造・特徴、運用上必要な事項、スクリプトによる動的なページの作成について説明する。インターネット技術の多様性と Web 技術を体系的に学ぶ。 【達成目標】 目的に応じた Web ページの製作が行え、効果的な情報発信が行える。 【授業内容】 1. ホームページとインターネット： インターネット技術の多様性 2. ホームページ閲覧ソフト、公開ソフトの解説： Web アプリケーションを構築するために必要な機能 3. ホームページ作成ソフトと HTML の解説 4. タグを用いたページの作成： 基本的なタグの解説、画像を含むページの作成 5. ページ間リンク記述： 演習：基本的なタグ、各種リンクタグの適用 6. ページの公開： ウエブサーバ機能の解説　演習：サイト管理 7. ホームページ作成ソフトを用いたページの作成： スタイルシートと適用 演習：スタイルシートの作成と適用 8. フレームを持つページの作成、各種リンクの作成　演習：フレームを持つページの作成 9. マルチメディアの組み込み　演習：マルチメディアを含んだページの作成 10. HTML とスクリプト：スクリプトの基礎、HTML の生成、マウス処理 演習：スクリプトによる動的なページの作成 11. フォームとスクリプト処理： フォームとスクリプトの利用、データベースの利用 演習：データベースとの連携　演習：アンケートページの作成 12. 情報モラルについて：情報通信と規制・法、プロバイダーと情報開示法、不正アクセス、 プライバシーの保護 13. 既存資料から Web ページの作成（携帯端末の利用） 演習：既存資料から Web ページの作成 14. Web ページの作成と提出　演習：課題 Web ページ作成 15. Web ページの作成と提出　演習：Web ページの改善			

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="6">5</td><td>京都学園大学</td><td>きもの学
【(一社) 全日本きもの振興会寄付講座】</td><td>2 年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>清水　宏一</td><td>キャンパスプラザ京都</td><td colspan="2">A017</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>8 月 27 日(土)～9 月 2 日(金)
3・4 講時（12：40～16：00）
9 月 3 日(土)3・4・5 講時
（12：40～17：50）

≪期間中の月曜日を除く、日曜日も講義あり≫</td><td colspan="3">・以下の教科書が指定されています。
きもの文化検定公式教本Ⅰ『きものの基本』(一社) 全日本きもの振興会企画編集
・以下の事前学習の指示があります。
「ゆかた」で良いので、一度は「きもの（和服)」を着てみることが、理解への最低条件です。
・早稲田大学でも「きもの学」を開講していますが、内容は重複していませんので、両科目とも履修することは可能です。</td></tr>
<tr><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td colspan="4">【成績評価】
①平常点（50%）出席状況による　②毎回課す授業内レポート及び確認テスト（50%）
【講義概要】
日本の歴史と風土の中で、日常生活はもとより、公式の場、社交の場を通じて洗練されてきた民族衣装としてのきものの伝統的な形式美や、機能性、経済性を再認識するとともに、多様性に富んだ生地素材や、多彩で清新な色、織り、染め、文様、形態、仕立てなど、きものの奥深さを再発見し、きものの良さを際立たせる着付けや、美しく着こなす振る舞い、さりげなくあしらわれた小物の数々など、あくなき美の追求を嗜好するきもの世界を探ります。
【到達目標】
きものを通じた日本文化への理解を深めることを目標とします。
【授業内容】
今年度の授業予定・担当教員は調整中のため。参考までに 2015 年度のシラバスを掲載しています。
1 回「きもの概論」きものの常識　清水宏一
2 回「きものに親しむ」きものの基礎知識　三宅てる乃
3 回「きものに親しむ」世界の民族衣装　市田ひろみ
4 回「きものと生活」　”らしさ”とは　安田多賀子
5 回「きものと生活」　きものと健康　高橋裕子
6 回「きものの文化と歴史」きものの歴史　林　智子
7 回　「きものの魅力」　伝承する古代系自然布　富山弘基
8 回「きものの魅力」　きものと日本伝統文化　高橋泰三
9 回「きものの魅力」きものと日本舞踊　西川影戀
10 回「きものができるまで　絹糸　北丸　豊
11 回「きものができるまで　西陣の大切なもの　野中健二
12 回「きものができるまで」これからの京友禅　仲田保司
13 回「きものを長く使う」　長く楽しむ・きもの生活　寺村貞亮
14 回「きものの現在」きもの、今日から明日へ　清田のり子
15 回「まとめ」まとめと試験　清水宏一
※学外の著名講師による講義ですので、講師の都合により変更される場合があります。</td></tr>
</table>

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
6	京都学園大学	京都商業特別講座Ｂ	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	堀池　敏男　他	キャンパスプラザ京都	A009	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 9 日(火)～8 月 11 日(木) 1～5 講時 9 時 00 分～17 時 50 分 （3 日間とも）	・以下の注意があります。 積極的なグループワークへの参加はもとより、京都商業への興味を持ち、京都商業における、イノベーション、活性化、商業機会などを見据えて、問題意識を持って、参加されたい。 なお可能な受講生は、ノート型パソコンを受講時持参されたい。		
	内容			

【成績評価】
平常点（２０点)、プレゼンテーション　（３０点)、研究成果（５０点）
【講義概要】
本講座は、基本的には、京都商業特別講義 A において習得した知識などを活かして行う、少人数制の演習講座となっている。このため講義については、オリエンテーション的なものを除き最小限にとどめ、京都における商業を担うべく、起業家精神を持ち、ブランド都市京都における、商業の果たす機能の重要性を踏まえたうえで、実際に商業にどのような形で関わりを持っていくかについての事業構想及び事業計画を考察する講座である。
国際観光都市を目指す京都商業の方向性には、内向け（地域住民向け）と外向け（観光客向けなど)、日用品・身の回り品（食料・衣料など）と専門品（伝統工芸品、土産物など)、京都地域資源を活用した商業モデル、農工商連携による商業モデル、商店街など商業集積の促進による地域活性化モデルなど、幅広い観点からさまざまに、商業への接近が可能である。
このように幅広い観点から京都における新たな商業モデルを構想し、事業計画、提言を策定することが、本講座の主眼とするところである。
具体的には、新たな商業モデルのデザイン、新たな商店街のデザイン、地域資源の活用による商業のデザイン、農商工連携による商業のデザインなどなどを、実現可能性を踏まえたデザインいわゆる構想を行う講座である。なお研究を進めるにあったっては、担当教員はもとより、複数のコンサルタントが各受講生およびグループに対して個別具体的な指導を行う。
よって当該講座における研究方法は、グループを中心とした、文献研究、事例研究、フィールドワークなどを各グループごとに計画し、実践し、進捗管理を行い、最終的には成果として商業にかかるデザインおよびプランニングを練り上げていくものである。このため本講座は、単なる知識、実践力の修得に留まらず、その過程を通じて研究における自主的な進捗管理、リーダーシップ、コミュニケーション、プレゼンテーションなどに関する能力やスキルを修得することも視野に入れている。
【到達目標】
商業に必要とされるマネジメントにかかる基本と原則を修得するとともに、グループ研究の過程を通じてリーダーシップ力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの涵養を図るとともに、京都商業におけるイノベーションを踏まえた、構想、計画を通じて、革新力、創造力などの修得も行いたい。
【授業内容】
第一日目　8/09(火)　キャンパスプラザ京都　1～5 講時(9 時 00 分～17 時 50 分)
1　講座についてのガイダンス
2　グループ分けおよび事業構想、事業計画への組織作り、役割分担など
3　グループ討議による商業領域におけるビジネスチャンス、活性化策の発見およびそのための計画策定への進め方についての検討
4　各受講者、グループからの質疑応答（以下質疑応答という)、コンサルタントの個別指導①（以下個別指導という）
5　各グループからの進捗状況についての報告、質疑応答、個別指導②
第二日目　8/10(水)　キャンパスプラザ京都　1～5 講時(9 時 00 分～17 時 50 分)
6　研究の進め方についての打ち合わせ
7　情報収集、文献研究、フィールドワーク、討議など、質疑応答、個別指導③

	８　　情報収集、文献研究、フィールドワーク、討議など、質疑応答、個別指導④ ９　　情報収集、文献研究、フィールドワーク、討議など、質疑応答、個別指導⑤ １０　各グループからの進捗状況についての報告、質疑応答、個別指導⑥ 第三日目　8/11(木)　キャンパスプラザ京都　1～5 講時(9 時 00 分～17 時 50 分) １１　各グループ研究結果のまとめおよびプレゼンテーションの準備 １２　各グループ研究成果のまとめおよびプレゼンテーションの準備 １３　研究成果発表会① １４　研究成果発表会② １５　まとめ（コンサルタントからの講評など）

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
7	京都経済短期大学	英語特講Ｂ	2 年以上	1
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	近藤　嘉宏	キャンパスプラザ京都	D005	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 23 日(火)～8 月 27 日(土) 2～4 講時 10 時 50 分～16 時 00 分	・資料代として 1,000 円必要です。		
	内容			
	【成績評価】 授業への態度（５０%）、毎回の小テスト（３０%）、メール課題（２０%） 【授業概要】 この講座の目的は、前期の英語特講Ａに引き続いて、効果的な学習方法を実際に自分で実践できるようにすること。夏季の集中講義は、時間と量の両方の点から英語に集中的に触れることができる絶好の機会である。TOEIC のリスニング・リーディングのトレーニングを中心に、編入や院試の対策も行う。これまでの英語の学習方法を見直し、この講座だけで完結させるのではなく、続けて練習出来るような学習者になってほしい。留学生の参加も歓迎します。keyword：音読・シャドーイング・多読・オーラルインタープリテーション			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
8	京都産業大学	天文学と私たち ～神山天文台からのアプローチ～	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	中道　晶香	キャンパスプラザ京都	G001	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9 月 6 日(火)～9 月 9 日(金) 2～5 講時 10 時 50 分～17 時 50 分 ※最終日のみ 2～4 講時、5 講時は試験を行う。	・以下の事前学習等の指示があります。 事前学習として、天文関係の書物（一般啓蒙書や科学雑誌でかまわない）を読破しておくことが望ましい。書物に理解できない点があれば、自分がどこに納得できないのか明らかにしておき、その疑問を解決しようという意識を持って講義に臨むこと。(以下、図書例) 『基礎からわかる天文学』半田利弘著・誠文堂新光社 『人類の住む宇宙（シリーズ現代の天文学Ⅰ）』岡村定矩編・日本評論社 『最新天文百科：宇宙・惑星・生命をつなぐｻｲｴﾝｽ』有本信雄翻訳・丸善株式会社		
	内容			
	【成績評価】 試験 100%（試験は最終日<9 月 9 日(金)>に行う。） 【講義概要】			

	天文学は人類最古の学問と言われるほど、私たち人間とかかわりの深い学問である。 京都産業大学は創設者が宇宙物理学者であったということから、天文学には縁のある大学であり、そのシンボルとして神山天文台を設置し、最新の天文学研究を推進している。宇宙を通して、人類の存在を新たな視点で捉えることが本講義の目的である。 私たちは、この宇宙という広大無辺な広がりの中で、どのような位置を占め、そしてどのような時代に生きているのであろうか。「宇宙」という表記は、空間の広がりを表す「宇」と時間の流れを表す「宙」から成ると言われる。この宇宙の成り立ちと、その多様な姿を紹介することで、私たちの置かれている立場を受講者が認識することが授業の到達目標である。 また、天文学と社会とのかかわりについて、社会教育や学校教育をテーマとして紹介する。 【到達目標】 ・天文学の幅広いテーマの基礎を理解し、天文学と人間生活との関わりについて考察することができるようになる。 ・科学的な見方を身につける。つまり、与えられた情報を鵜呑みにせず、論理的に理由を考えて自分で判断することができるようになる。 【授業内容】 第１回　世界の星座 第２回　天体の運行と月食 第３回　太陽 第４回　いろいろな惑星、小惑星、彗星 第５回　星間物質と星形成 第６回　太陽系の形成 第７回　主系列星から巨星、その後の進化 第８回　中性子星、ブラックホール 第９回　銀河、銀河団、宇宙の大規模構造 第 10 回　望遠鏡の仕組み 第 11 回　スペクトル（虹）とは 第 12 回　ドップラー効果、赤方偏移 第 13 回　宇宙膨張の証拠 第 14 回　宇宙の未来　～　ダークマターとダークエネルギー　～ 第 15 回　天文教育・普及を考える 第 16 回　試験 ゲスト講師による講義も予定している。日時は初日に発表する。 【事前学習】 ・事前学習として、天文関係の書物（一般啓蒙書や科学雑誌でかまわない）を読破しておくことが望ましい。書物に理解できない点があれば、自分がどこに納得できないのか明らかにしておき、その疑問を解決しようという意識を持って講義に臨むこと。 ・毎回の講義の時間内に質問タイムを設けるので、関連する疑問点について積極的に質問してほしい。 【事後学習】 ・その日のうちに復習し、わからない点を無くしておくこと。

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="5">9</td><td>京都産業大学</td><td>歴史都市京都の文化と観光</td><td>2 年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>吉野　秋二</td><td>キャンパスプラザ京都</td><td colspan="2">A010</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>8 月 7 日(日)　3・4・5 講時
8 月 9 日(火)～8 月 12 日(金)
3・4・5 講時
※3 講(12 時 40 分～14 時 10 分)
4 講(14 時 30 分～16 時 00 分)
5 講(16 時 20 分～17 時 50 分)</td><td colspan="3">・以下の教科書が指定されています。
『京都・観光文化検定試験 公式テキストブック（増補版)』(淡交社)
・2014 年度までに「京都の歴史・文化と観光」の単位を修得している場合、内容が重複するため履修できません。</td></tr>
<tr><td colspan="5">内容</td></tr>
<tr><td colspan="5">【成績評価】
試験による
【講義概要・到達目標】
歴史都市として著名な京都には、世界遺産「古都京都の文化財」に包摂される寺社をはじめとして、多くの文化遺産が存在しています。現代京都に生きる人々の生活や習慣、風俗も、歴史的に形成された文化遺産としての性格をもっています。本講義では、さまざまな専門分野をもつ講師陣により、京都文化の諸相を多角的に検討し、理解を深めていきます。この講義は、京都産業大学と「京都・観光文化検定試験（京都検定)」を実施している京都商工会議所が共同で開講しています。毎回の授業は、「京都検定」３級の受験を念頭に置き、検定の公式テキストを教科書として授業を進めます。歴史はもちろん、作法・慣習など、通幅広い領域の京都学の基本的知識の習得につながる授業です。京都は、国内外から毎年 5000 万人もの観光客が集まる国内随一の観光都市でもあります。本講義の受講生が、歴史都市・観光都市京都の担い手として活躍されることを期待しています。
【授業内容】
第 1 回　古代の京都と文化財（井上満郎)
第 2 回　中世の京都と文化財（吉野秋二)
第 3 回　近世の京都と文化財（若松正志)
第 4 回　京都の世界遺産（鈴木久男)
第 5 回　本年度の京都検定－京都検定３級公開テーマ問題－（吉野秋二)
第 6 回　京都検定への誘い～観光とおもてなし（岩上力)
第 7 回　京都三大祭～葵祭、祇園祭、時代祭（岩上力)
第 8 回　年中行事（前半)・菓子と料理①（岩上力)
第 9 回　年中行事（後半)・菓子と料理②（岩上力)
第 10 回　京のならわしと伝統工芸品（岩上力)
第 11 回　芸術・文化　(茶・花・能楽・歌舞伎・花街)（岩上力)
第 12 回　京都びとの信仰と縁起物　(神社・寺院)（岩上力)
第 13 回　前半 近代の京都と文化財（吉野秋二)、後半 京都の智恵と心（岩上力)
第 14 回　まとめ・補足・Q＆A タイム①（吉野秋二・岩上力)
第 15 回　まとめ・補足・Q＆A タイム②および試験（吉野秋二)</td></tr>
</table>

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
10	京都市立芸術大学	音楽学特講 i	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	時田　アリソン	京都市立芸術大学	C142	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 16 日(火)～8 月 18 日(木) 1～4 講時 10 時 00 分～17 時 00 分			
	内容			

【成績評価】
平常点，ミニレポート（2 つ），2,000 字のレポート（提出日は 9 月 30 日）
【講義概要】
英語による音楽学概論。雅楽、声明、平家・浄瑠璃の語りの音楽と演劇（能、文楽、歌舞伎）との関係、三味線・箏・尺八の器楽のお話の上で、その時の演奏会の兼ね合いで焦点を絞って、体験的なワークショップを提供する。
【到達目標】
日本の現在まで伝承されている伝統音楽とその近代的発展を紹介する。英語で行う目的は、日本人参加者の場合、これから留学を考える音楽の学生が日本固有の音楽について外国人に英語で話ができるようになることを目指す。外国人参加者（演奏家、作曲家、研究者など）の場合、手軽に日本の音楽文化が大まかな理解が得られることを目指す。
【授業内容】
①What is Japanese music? Context and change
　日本音楽とは何か？コンテクストと変容
②Gagaku and shomyo
　雅楽・声明
③Heike narrative
　平家の語り
④No, kyogen and utai
　能・狂言の謡と林
⑤Joruri and the puppet theatre
　浄瑠璃と文楽
⑥Joruri and the kabuki theatre
　浄瑠璃・長唄と歌舞伎
⑦Shamisen music
　三味線音楽
⑧Shakuhachi music
　尺八音楽
⑨Koto music and the sankyoku ensemble of koto, shamisen, shakuhachi, kokyu
　地歌・箏曲・三曲
⑩Folk traditions - minyo, kagura
　民謡、神楽
⑪Ainu, Okinawa
　アイヌと沖縄などのマイノリティの音楽
⑫New traditions - naniwa-bushi, kindai biwa, wadaiko, enka, etc.
　新しい「伝統音楽」～浪花節、近代琵琶、和太鼓、津軽三味線、演歌等

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
11	京都造形芸術大学	アーキテクトスクールⅠ	3年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	高崎　正治	京都造形芸術大学	G124	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9月2日(金)～9月7日(水) 1～6講時 9時00分～19時20分 (5日間全て) ※9月4日(日)の授業はありません。	・以下の参考書が指定されています。 『TAKASAKI MASAHARU An Architecture of Cosmology』 プリンストン建築社（アメリカ） なお、学内で参考書の販売は行っておりません。一般書店でお買い求めください。 ・5日間出席することを前提に履修してください。 ・可能であれば「『新建築』 2012年9月号」を持参してください。 ・本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場・駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。		
	内容			
	【成績評価】 〈基準〉 ・与えられたテーマからどのような発想で、空間を構築するに至ったのか。 ・継続して授業に参加し課題に取り組み、成果を得たかどうか。 ・グループディスカッションや質問を通して、積極的に授業にコミットしたかどうか。 〈評価方法〉 ・成果物の内容と完成度により評価する。 ・授業への参加度により評価する。 ・グループディスカッションやプレゼンテーションでの取り組み姿勢により評価する。 【授業概要等】 ■テーマ：環境芸術としての建築 ■授業概要： 建築家を志望する学生のための、建築家高崎正治による集中授業。人間を取り巻く環境を芸術の観点から捉え、工学的な設計だけでなく、芸術表現のデザインに主眼を置いた教育を実践します。又、絵画や彫刻等を融合した建築の試みを通して、新しい時代の環境哲学を構築するための感性を実践的に身に付けることを狙いとします。 ■履修にあたって ・夏期集中。9月2日（金）1講時～6講時、9月3日（土）・5日（月）・6日（火）7日（水）1講時～6講時。4日（日）は休み。 ・5日間出席することを前提に履修してください。 ・可能であれば下記の雑誌を持参してください 『新建築』 2012年9月号 ■到達目標：建築家に必要な創造力、造形力の獲得。 ■授業計画： 9月2日（金） 1講時～6講時 出題・オリエンテーション・講義 9月3日（土）・5日（月）・6日（火） 1講時～6講時 制作 9月7日（水） 1講時～6講時 合評 ■予習復習について 予習/課題に沿った資料や事例を自分の視点でまとめ、制作に活かせるように学習すること。 復習/設計コンセプトを様々な視点でドローイングし、制作を通して実現可能な案になるように学習すること。			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
12	京都造形芸術大学	情報デザイン論Ⅴ	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	大西　宏志　他	京都造形芸術大学	C143	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8月8日(月)～8月10日(水) 3～4講時　13:10～16:10 ※8月10日(水)のみ3～5講時 13:10～17:50 担当：大西　宏志 8月25日(木)～8月30日(火) 3～4講時　13:10～16:10 ※休講8月27日(土)、28日(日) 担当：毛原　大樹 ※両日程とも受講すること	・以下の参考書・参考となるページが指定されています。 1.『21世紀メディア論』水越 伸著　放送大学教育振興会 2.『ユーロ・アニメーション―光と影のディープ・ファンタジー』 昼間行雄　他　フィルムアート社 3.『ロボット・アヴァンギャルド―20世紀芸術と機械』　津堅 信之著 Parco出版 4.『ニューメディアの逆説』粉川 哲夫著　晶文社 5.『テレビ　We are TV's Children』INAXギャラリー名古屋企画委員会編　株式会社INAX 6.アニメーションの原理と成立過程 https://www.youtube.com/playlist?list=PLF196F736E687C9B5 本学通信教育部で使用している映像 7.初級　自由ラジオ講座 https://www.youtube.com/watch?v=iWrbEnG5VmY なお、学内で参考書の販売は行っておりません。一般書店でお買い求めください。 ・本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場・駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。		
	内容			
	【成績評価】 ＜基準＞ ・授業で学んだことだけではなく、自主的な学びがあるか。 ・論理的な思考を行い、メディアに対する自己の意見を組み立てられているか。 ・たゆまぬ努力によって、情報の蓄積をつづけているか。 ＜評価方法＞ ・レポート ・授業への参加度 【授業概要等】 ■テーマ：メディア論 ■授業概要： 「メディア」と言う言葉が一般的なものになって久しいが、その意味や使われ方は拡散の一途をたどっている。この授業では、メディアというものが何であるか、複数の視点からピックアップした事例をもとに考察する。授業は2名の教員が担当する。前半は主として「メディア」を俯瞰的に考察できるようなテーマ設定、後半は''ラジオ''、''テレビ''というキーワードを軸に「共感するメディア」について考察する。自由な発想で環境に応じたメディアを選択する能力、もしくは創造する思考、それらを活用して空間をデザイン（発表）することを目標とする。授業は主として講義形式で進めるが、ディスカッションやワークショップも含めたい。また、講義ではスライドや映像などの視聴覚教材を有効に利用し、より具体的なイメージの共有を図る。 ■到達目標： メディアについての理解を深め、自身の表現や制作に役立てるための視点をつくる。 ■授業計画 「メディア」 担当：大西 01. メディア論概論 02. メディアと技術 03. メディアと芸術1　映画			

	04. メディアと芸術２　アニメーション 05. メディアと芸術３　メディア･アート 06. メディアと倫理 07. レポート（小テスト） 「メディアの空間的思考」 担当：毛原 08. メディアがもたらす気まずさ 09. テレビジョンがつくるコミュニティの変容　―仮想空間のお茶の間― 10. インターネットの中のテレビジョン　―“テレビ”の継承― 11. テレビジョン再考１　―新しいメディアを考える― 12. テレビジョン再考２　―「ミニ・テレビ」というメディア遊び― 13. ラジオ・アートの思想 14. ラジオ・アートの思想と実践１ 15. ラジオ・アートの思想と実践２ ■予習・復習について まず授業中にしっかりノートを取ること。そして授業内容で分からなかったことや更に調べてみたくなったこと等を、図書館やインターネットで調べてノートに書き込んでおくこと。

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
13	京都造形芸術大学	編集論 II	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	津田 大介	京都造形芸術大学	C144	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 25 日(木)～8 月 28 日(日) 1～4 講時 9 時 00 分～16 時 10 分 ※28 日（日）のみ 1～3 講時 9 時 00 分～14 時 30 分	・以下の教科書が指定されています。(授業中適宜、記事の印刷物を配布) 1.『コメントする力』　竹田圭吾著　PHP 研究所 2.『メディアの仕組み』　池上彰×津田大介　著　夜間飛行 ・以下の参考書が指定されています。 1.『ウェブで政治を動かす！』　津田大介著　朝日新聞出版 2.『官報複合体』　牧野洋著　講談社 3.『アーキテクチャの生態系』　濱野智史著　NTT 出版 4.『ゴミ情報の海から宝石を見つけ出す』　津田大介著　PHP 研究所 なお、学内で参考書の販売は行っておりません。一般書店でお買い求めください。 ・本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場・駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。		
	内容			
	【成績評価】 ＜基準＞ ・メディアリテラシーや編集の概念を実践的に理解しているか。 ・情報発信全般、企画について自ら考えられる力を身につけているか。 ・取材時の質問や企画作成に学んだ知識を活用できるか。 〈評価方法〉 ・レポートや授業内のディスカッションなどで総合的に評価する。 ・授業内に行われる実習で総合的に評価する 【授業概要等】 ■テーマ 情報の編集と激変する情報環境におけるメディアリテラシーを学ぶ			

■授業概要
報道、雑誌、文芸、編集の現場を紹介しつつ、ジャーナリズムと、ネットがジャーナリズムに与えた社会的影響や最新動向を論じながら現代のメディアのあり方や、ネットの情報発信全般について自ら考えられる力を身につけるとともに、ソーシャルメディア時代のメディアリテラシーについて実践的な理解を深める。
【履修にあたって】
夏期集中講義 8 月 25 日（木） ～ 8 月 28 日（日）
インタビューの実施とレポート提出は必須。
■到達目標
自らの力で興味のある事象に対してさまざまな方法で調べ、調べた結果を論理的な文章にできるようにする。
■授業計画
＜8/25　1～4 講時＞
第 1 回　ガイダンス／ジャーナリズム・編集とは何か
第 2 回　メディアリテラシーを学ぶ
第 3 回　情報の編集を学ぶ
第 4 回　情報の編集を実践する
＜8/26　1～4 講時＞
第 5 回　ブログの誕生とジャーナリズム
第 6 回　ソーシャルメディアとジャーナリズム
第 7 回　インタビューと構成（1）
第 8 回　インタビューと構成（2）
＜8/27　1～4 講時＞
第 9 回　ウィキリークス
第 10 回　データジャーナリズム
第 11 回　協調型／リンク／オープンソース／プロセスジャーナリズム
第 12 回　ルポルタージュの書き方
＜8/28　1～3 講時＞
第 13 回　これからのメディア人に求められること
第 14 回　講義のまとめ／レポート執筆（1）
第 15 回　講義のまとめ／レポート執筆（2）
■予習復習について
講義が始まる前に 2 冊の教科書を読んでおく必要あり。また、集中講義期間中、授業で与えられた課題（取材とレポート）を授業外で行う。

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="5">14</td><td>京都橘大学</td><td>京都の歴史と文化遺産</td><td>2 年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>増渕　徹</td><td>キャンパスプラザ京都</td><td colspan="2">A012</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>9 月 13 日(火)～9 月 16 日(金)
4 日間全て 1～4 講時
9 時 00 分～16 時 00 分
※最終日は 3 講時まで
※日程は変更になる場合があります。</td><td colspan="3">・見学に際して必要な交通費や入館料は個人負担となります。</td></tr>
<tr><td colspan="5">内容</td></tr>
<tr><td colspan="5">【成績評価】
授業中課題（50%）参加度（50%）:「授業中課題」として、毎日の小レポートと、全体をまとめるレポートを課す。なお、全日程終了後、最終レポートの提出を求める。
【テーマ】
京都市の歴史遺産とその保護・活用について学ぶ
【講義概要】
京都市文化市民局文化財保護課の技師の方々を講師に、市内の各種の文化遺産とその特徴、及び調査や保護上の課題を解説する形式で進める（集中講義）。講義中に２～３回の現地見学を行う（見学料等が必要になる場合がある）。なお、以下の予定は過年度に実施した内容に準拠したもので、実際の講義内容や見学対象は講師の関係で変更する場合がある（その際にはあらためて通知する）。
【到達目標】
京都市内に残る遺跡・建造物・庭園・美術工芸品・民俗文化財などの多様な文化遺産に対する知識を深め、現代における遺産の調査・保護・活用について問題意識をもつ。
【準備学習（予習・復習）】
日常的にたくさんの文化遺産を見学し、自身で問題意識をもってほしい。なお、2 講時分程度を 1 単位としてミニレポートを課す。
【授業内容】
第 1 回　京都の歴史と文化遺産の特徴（総説）
第 2 回　京都市の文化遺産とその保護体制
第 3 回　京都市の史跡と世界遺産
第 4 回　庭園の保存　－以上、第 1 日－
第 5 回　京都市の民俗文化財（祭礼・行事）
第 6 回　障壁画の保存
第 7 回　歴史遺産見学
第 8 回　歴史遺産見学　－以上、第 2 日－
第 9 回　文化的景観の問題
第 10 回　京都市の歴史遺産建造物
第 11 回　歴史遺産見学
第 12 回　歴史遺産遺産見学　－以上、第 3 日－
第 13 回　京都市の遺跡
第 14 回　京都市の民俗文化財と世界無形遺産
第 15 回　まとめ－文化遺産の保護とその課題－　－以上、第 4 日－</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="6">15</td><td>京都西山短期大学</td><td>子どもの発達とヨーガ遊び</td><td>2 年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>伊藤　華野</td><td>キャンパスプラザ京都</td><td colspan="2">F003</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>8 月 23 日(火)～8 月 25 日(木)
1～5 講時
9 時 00 分～17 時 50 分</td><td colspan="3">・ヨーガマットあるいは大判バスタオルを持参してください。
・以下の教科書が指定されています。
『はじめよう！ キッズ・ヨーガ 親子で楽しいヨーガあそび』(エンターブレインムック) 伊藤華野 著 (KADOKAWA/エンターブレイン)
『子どもとおとなのキレイな姿勢をつくる絵本ーおねんねまぁえにまねまねヨーガ』伊藤華野 著 (京都通信社)</td></tr>
<tr><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td colspan="4">【成績評価】
授業内課題、実技、レポート
【講義概要等】
本講義では胎児期～思春期に至る主な発達的特徴の理解とヨーガ実技の修得を目的とする。子どもの発達には遊びが重視される。遊びとは本来、主体的意思に基づいた自由で目的の無い行為である。一方、ヨーガはインドに発祥を由来し、瞑想を目的とする実践哲学である。このうち現代人の健康法として広く活用されているﾊﾀ・ヨーガを子どもの保育・教育現場に導入する場合、ヨーガ遊びとしての展開は可能となるのであろうか。この講義では子どもの心身の発達を促す遊びとしてのヨーガの具体的実践方法を提案し、環境を通した保育や教育的配慮のあり方について、受講生と共に考察していきたい。
【授業内容】
第 01 回子どもの遊びと発達について
第 02 回子どもとは。ヨーガとは
第 03 回胎児期の発達的特徴
第 04 回ペアレントへのヨーガ遊び実技
第 05 回医療と子どもヨーガの可能性
第 06 回乳児期の発達的特徴
第 07 回スキンシップ・ヨーガあそび実技
第 08 回幼児期の発達的特徴
第 09 回模倣遊びとヨーガ実技
第 10 回福祉と子どもヨーガの可能性
第 11 回児童期の発達的特徴
第 12 回お話とヨーガ実技
第 13 回思春期の発達的特徴
第 14 回ストレスマネジメントとヨーガ実技
第 15 回教育と子どもヨーガの可能性</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="6">16</td><td>京都ノートルダム女子大学</td><td>オンライン版英国文化研究Ⅱ：
サイバースペースに探るザ・ビートルズ物語</td><td>2年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目CD</td></tr>
<tr><td>小林　順</td><td>キャンパスプラザ京都（注）</td><td colspan="2">C006</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>8月9日(火)～8月17日(水)
1～2講時
9時00分～12時20分
（8月10日、8月12日、8月14日、8月16日、8月17日）

※8月9日(火)は1～3講時
9時00分～14時10分
※8月13日(土)のみ京都ノートルダム女子大学で実施
13時00分～16時00分
※8月11日(木・祝)、と
8月15日（月）は授業なし</td><td colspan="3">・(注) 8月13日(土)は、京都ノートルダム女子大学で授業を実施します。授業時間も13:00～16:00となります。
・左記のとおり、日によって場所・時間が異なりますので注意してください。
・授業を履修するにあたり、インターネット接続されているパソコンが必要です。詳細は、シラバスを参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td colspan="4">【成績評価】
特定テーマのプレゼンテーションおよびレポート
【事前準備等】
受講者はオンライン状態を整備してもらいたい。それはいたって簡単そして単純である。普通のパソコンをインターネットに繋げばそれでオーケー。マイクとビデオカメラを繋いでもらえばオンライン上で講じる小林や他の受講者に出会うことができる。準備すべきはこれだけ。自室にいながら地球の体積に等しいのではないかと思えるほどの情報・データを掌中にできる。それがオンライン状態ということであります。疑問点はクラスで解き明かす、そんな気分で参加してもらえば良いと思います。
【講義概要等】
１．科目の教育目標
イギリスの文化に親しむためのクラスです。とりあげるトピックとしては、ザ・ビートルズの物語。主に、彼らの歌詞を読み解き、足跡を読み解く。４人に関する情報・データをネット上に渉猟、さらに、実際にオンライン上の音・ビデオ情報を再現して、彼らの音を体験し、歌詞の意味を読み解くことにする。
２．教育・学習の個別課題
言うなれば、ザ・ビートルズの足跡をたどり歌詞を読み解くことは、イギリスと英語を学ぶことでもあります。具体的には彼らの歌詞を集積しているサイトを訪れ、毎回一編ずつ歌詞を読解します。読解に必要な参考文献類もオンライン上に活用できるものを使います。オンラインに山積する英語情報がザ・ビートルズと彼らの歌詞を読み解くための指針となるはずです。
３．教育・学習の方法
オンライン上のインタラクティブなクラスです。パソコンとインターネットを使い、課題の調査と成果を表す準備が必要。英文読解のための道具類（オンライン辞書やGoogle提供道具類）の活用、オンライン指導、どこでも指導を受けられる環境など、クラスの課題にとりくむ環境を整えます。オンライン参加が可能です。自室からオンラインにアクセスしてください。詳細は教室で説明します。
【授業内容】
第01回 イントロダクション
インタラクティブになるための装置確認、関連資料の探索・収集法、ノート作成法、など。</td></tr>
</table>

	第02回 オンライン資料＝“I wanna hold your hands”読解 第03回 オンライン資料＝“Please Please me”読解 第04回 オンライン資料＝“A Hard Day's Night”読解 第05回 オンライン資料＝“I should have known better”読解 第06回 課題1デビュー前後のザ・ビートルズの解題 第07回 課題2突然の富にとまどうザ・ビートルズの解題 第08回 課題3衝突緩衝装置の解題 第09回 オンライン資料＝“Help”読解 第10回 オンライン資料＝“Let it be”読解 第11回&第12回 受講者発表：オンライン・プレゼンテーションの試み 第13-15回 分裂の歴史解題：奇跡的10年間とあまりに人間的な衝突の悲喜劇解題(この間にも歌詞の読解をおこなう。受講者が作品を選り、プレゼンテーション形式の講義となる。)

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
17	京都府立医科大学	やさしい看護学:社会に潜む依存症と倫理的な課題～アルコール・薬物・インターネット～	2年以上	1
	担当教員	授業会場	科目CD	
	北島　謙吾　他	京都府立医科大学	F126	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8月9日(火)～8月10日(水) 1～4講時 10時00分～16時00分			
	内容			
	【成績評価】 出席・レポート 【到達目標】 現代社会の病理現象の一つである依存症について、メンタルヘルスと倫理的側面から理解する。 【授業内容】 8月9日(火) 午前 講義：成長発達における「依存と自立」 演習：アルコールパッチテスト実施 午後 視聴覚教材：映画「酒とバラの日々」DVD視聴 グループワーク：講義・演習・映画を通して 8月10日(水) 午前 講義：薬物依存症・インターネット依存について 午後 講義：現代社会に潜む依存と倫理課題 演習：各自でテーマ学習のレポートまとめ			

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="6">18</td><td>京都府立大学</td><td>農学生命科学集中実習</td><td>2 年以上</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>寺林　敏　他</td><td>京都府立大学</td><td colspan="2">G125</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>9 月 13 日(火)～9 月 15 日(木)
予定・２泊３日の宿泊あり</td><td colspan="3">・食費、宿泊用寝具代として 5,000 円必要です。（当日徴収）
・農作業ができる服装を持参してください。</td></tr>
<tr><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td colspan="5">【成績評価】
実習参加時間数、終了時に提出するレポート
【講義概要】
2 泊 3 日の日程で、作物（イネ）、野菜、花卉、果樹を対象に、作物栽培の基本となる、播種、定植、種々管理（除草、防除など）、収穫・調整等の作業を行う。
【到達目標】
園芸作物を中心に作物の特徴、栽培技術の理論と実際、農地を取り巻く環境等について理解を深める。
【授業内容】
・京都府立大学下鴨キャンパスに初日集合の後、バスにて移動。
・京都府立大学精華農場にて実習及び宿泊。
・農作業ができる服装の用意

1. バス移動　下鴨キャンパスを午前 9 時出発
2. 農場施設の説明
3. 水田環境と水稲生育の観察
4. 野菜の栽培法と夏野菜の収穫
5. 秋野菜の播種、定植
6. 野菜（トマトなど）の施設栽培法
7. 花の栽培法と繁殖（花苗移植）
8. 花の収穫と調整
9. 作物の肥培管理
10. 作物の保護（除草と病害虫防除）
11. 果樹類の形態及び栽培法の説明
12. 果樹（ブドウ）の収穫
13. 果樹（ブドウ）収量調査と調整
14. レポート作成
15. バス移動　京都府立大学下鴨キャンパスにて解散（午後 5 時予定）</td></tr>
</table>

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
19	同志社大学	消費者問題と現代社会	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	青木　真美	キャンパスプラザ京都	H008	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9 月 6 日(火)～9 月 10 日(土) 2～4 講時 10 時 50 分～16 時 00 分			
	内容			

【成績評価】
出席　15%　遅刻，早退の有無も含める
小レポート　15%　出欠票に掲載したテーマについて毎日提出
期末レポート　40%　講義終了一週間後に提出
提出物　30%　グループワークのまとめなど
小レポートについては，授業への理解度を確認する。期末レポートについては，全体を通じてどのような学びを得たか，消費者問題についての自覚の度合いなどを確認する。提出物については授業参加と他の受講者との意見交換ができているかどうかをみる。

【講義概要】
これまでの経営学や商学では，生産者，供給者の視点からのアプローチが主であり，消費者や利用者の立場からの議論は少なかった。消費者の保護という視点から，消費者の権利を尊重すると共に消費者の自立を支援することを基本理念とした「消費者基本法」が 2004 年 6 月に施行され，経営や商学において消費者の立場からのアプローチも重要な課題となってきている。消費者の啓発と教育が「消費者基本法」には定められており，本講も同法の具体的な実現の計画などを示す「消費者基本方針」の一環として実施されるものである。多様化，国際化する社会の中で，消費者をめぐる問題は複雑化している。本講では，具体的な消費者問題をとりあげながら，現代の消費者政策について，市民の立場から考察する。

【到達目標】
受講者が現代社会における自立した消費者として，「消費者力」とは何かを理解し，現実的にその能力を身につけるためにはどのようなことが必要かということについて会得することを目標としている。そのために，学生生活で直面するような契約トラブルや食の安全・安心などの具体的な問題を取り上げ，現代社会の消費者問題の構造，その解決のための消費者教育や消費者政策について，「消費者市民社会」の視点から論じていく。

【授業内容】
第 1 回〈9 月 6 日〉開講にあたって「消費者問題と現代社会」
第 2 回（9 月 6 日）消費者被害の現場から〈1〉
第 3 回（9 月 6 日）消費者被害の現場から〈2〉
第 4 回〈9 月 7 日〉消費者契約法
第 5 回（9 月 7 日）「食」と健康
第 6 回〈9 月 7 日〉食の安全・安心のために
第 7 回〈9 月 8 日〉学生生活の安全のために
第 8 回〈9 月 8 日〉京都市のごみ半減化の取り組みから
第 9 回〈9 月 8 日〉グループワーク
第 10 回〈9 月 9 日〉「消費」が市場を変える
第 11 回（9 月 9 日）フェアトレードから見えてくること
第 12 回〈9 月 9 日〉企業と消費者の対話
第 13 回〈9 月 10 日〉消費者行政の課題
第 14 回〈9 月 10 日〉「消費者市民社会」と消費者教育

	第15回（9月10日）全体のまとめと講評 講義には各種団体からの講師を招聘しているため，都合上，講義スケジュールが前後する場合がある。

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
20	同志社大学	複合領域科目 1-85 （「コミュニケーションのバリアフリー」を考える―共に生きる社会をめざして―）	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	川崎　友巳　他	同志社大学（今出川校地）	E140	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8月29日(月)～9月2日(金) 2～4講時 10時45分～16時25分	・本講義の受講を希望する障がい学生で，授業保障等の支援を希望する場合は，必要に応じて在籍大学とも調整し，支援を検討しますので，2016年8月1日（月）までに，同志社大学障がい学生支援室までE-mail にてお申し出ください。jt-care@mail.doshisha.ac.jp ＜参照URL＞ http://challenged.doshisha.ac.jp/about/ 同志社大学学生支援センター　障がい学生支援室		
	内容			
	【成績評価】 平常点(出席，クラス参加，グループ作業の成果等)　50%：議論への積極的な参加度，出席を重視する レポート試験・論文　50%：講義内で得た知識を自己と関わらせて深めることができたかを評価する 【講義概要】 本講では，学内で共に学んでいる障がい学生を取り巻く状況・実情を踏まえつつ，障がい学生とそれを支援する人々の双方が直面するバリアについて考察する。そのバリアを解消するための1つの手段としての「コミュニケーション」に着目し，ロールプレイやワークショップを通して，支援する人/される人双方の気づきについて考察する。その気づきを，バリアフリーの手段としてのコミュニケーションについての共感的理解につなげ，受講生の自立的な成長の実現を目指す。 前半では，2014年2月に施行された「障害者権利条約」および2016年4月に施行される「障害者差別解消法」等の理解を通して，国内外の社会の動向を把握する。さらに，車いす等を用いた，支援する・される側の体験から障がい全般について考える。 中盤からは，大学および企業，地域社会で障がい者支援に従事する実践家などを招聘した上で，ディスカッションを通じた受講生それぞれの気づきを，後半のクロージングにつなげていく。 クロージングでは，本講のテーマに関する気づきをもとに，グループ別の発表を行う。そのためにも，すべての講義の出席とディスカッションへの積極的な参加が求められる。 なお，障がい学生には受講に際して必要な支援を提供する（PC通訳の用意等)。 【到達目標】 障がい者（学生）を取り巻く状況・実情を踏まえつつ，障がい学生とそれを支援する人々の双方が直面するバリアについて理解できるようになる。そのバリアを解消するための1つの手段としての「コミュニケーション」に着目し，障がい体験から支援する人/される人双方のバリアに気づくことができるようになる。また，その気づきを，バリアフリーの共感的理解につなげ，主体的に学び，自立的な成長を実現できるようになる。 【授業内容】 1日目　8月29日(月) 2講時　高等教育機関における障がい学生支援-日本の障がい学生支援の現状と法整備について【川崎友巳　日下部隆則】 3講時　高等教育機関における障がい学生支援-米国の障がい学生支援の現状と法律との関係について【ゲストスピーカー：日下部隆則】 4講時　高等教育機関における障がい学生支援-2 講の講義内容を踏まえたグループディスカッション【日下部			

	隆則、土橋恵美子】 2 日目　8 月 30 日(火) 2 講時　「支援する・される」関係からコミュニケーションを考える-聴覚障がい体験，視覚障がい体験【土橋恵美子】 3 講時　「支援する・される」関係からコミュニケーションを考える-肢体不自由体験【土橋恵美子】 4 講時　「支援する・される」関係からコミュニケーションを考える-2 講の講義内容を踏まえたグループディスカッション【日下部隆則、土橋恵美子】 3 日目　8 月 31 日(水) 2 講時　障がいで阻まれる環境，障がいを超えるための視点-大学における障がい学生と支援の事例【土橋恵美子】 3 講時　障がいで阻まれる環境，障がいを超えるための視点-企業における障がい者と支援の事例【日下部隆則】 4 講時　障がいで阻まれる環境，障がいを超えるための視点-2 講の講義内容を踏まえたグループディスカッション【日下部隆則、土橋恵美子】 4 日目　9 月 1 日(木) 2 講時　地域社会と障がい者支援を知る-日本の社会福祉の現状について【空閑浩人】 3 講時　地域社会と障がい者支援を知る-各々の立場から（発達障がい/聴覚障がい）クロストーク【日下部隆則、土橋恵美子】 4 講時　地域社会と障がい者支援を知る-2 講の講義内容を踏まえたグループディスカッション【日下部隆則、土橋恵美子】 5 日目　9 月 2 日(金) 2 講時　「コミュニケーション」，「自分の中の気づきや変化」，「心のバリアを取り除く」などをテーマとしてのグループディスカッション【日下部隆則、土橋恵美子】 3 講時　「コミュニケーション」，「自分の中の気づきや変化」，「心のバリアを取り除く」などをテーマとしてのグループディスカッション【日下部隆則、土橋恵美子】 4 講時　授業内評価【日下部隆則、土橋恵美子】 ※「授業時間外の学習」 初回：シラバスをよく読んで，講義全体の過程を把握しておくこと 2 回目以降：新聞記事や番組等から高等教育機関における障がい学生支援について調べておく

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
21	同志社女子大学	京都の文化に触れるＥ	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	天野　太郎　他	同志社女子大学（今出川キャンパス）	A111	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 25 日(木)～9 月 2 日(金) 10 時 00 分～16 時 00 分 ※8 月 27 日(土)、8 月 28 日(日)は休講です	・実地研修の際、博物館などでの実地研修において、各自入場料 500 円程度必要となることがあります。そうした大学から実地研修先（市内近傍）までの交通費についても自己負担となります。		
	内容			
	【成績評価】 各回午前・午後の出席確認を行う。この出席を前提として（５０%）， 最終回でおこなう試験とレポート提出等の提出物（５０%） について， 第7回目担当の天野によりとりまとめ、採点ならびに総合評価をおこなう。 【講義概要】 授業テーマ：京都の文化の多様性ーその理論と実践 【到達目標】 本講義では， 京都の文化のありかたの一端について， 実際の美術・能・京菓子・染色・香・十二単の装いなど，京都文化を代表する芸術に関わる第一線の方々を講師陣として招き， その理論について講義するとともに， 実践的な工房など現場の見学， 体験を通じて， 生きた京都文化の理解を深めることを目的とする。 【授業内容】 すべて各回（7 回） を， それぞれの講師陣の指導のもとで， 講義・見学・実践体験をおこなう。 各回はそれぞれ 1 日で， 全日あるいは午前・午後などにわかれて， 大学の講義室のみならず， 京都市内の現場において実地見学学習をおこなう。 1. ガイダンス　京都の歴史的・地理的なりたち （本学教員　山田邦和） 本講義の全体導入 2. 京都の美術（上田文）　京都美術の歴史と世界 3. 染色の世界（吉岡幸雄）　染色の世界と実践 4. 幽玄の世界　能の形（能楽師・観世流シテ方　河村晴道） 「能」の歴史と実演見学 5. 王朝の香り（松栄堂社長　畑　正高） 「香」の歴史と現在のありかた 6. 京菓子の世界（山口祥二） 7. まとめ　京都の文化の多様性（本学教員　天野太郎） 授業方法： 教室における講義形式と， 芸能の現場の実地見学・研修を併せておこなう。通常の各テーマに関する講義学習とともに， 生きた京都文化を実体験する方向性で授業をおこなう。			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
22	花園大学	人と文化　－禅－	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	花園大学学長　他	花園大学	E141	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9月7日（水）～9月9日（金） 1～5講時 9時00分～17時50分	・実習費（最終日昼食代＋拝観料）1,600円が必要です。 ・以下の指示があります。 受講許可が下りた後、受講を辞退する場合は早急に申し出ること。		
	内容			
	【成績評価】 レポートにて評価するが、出席を特に重視する。 【講義概要等】 禅とは何か、禅の語録、修行、生活はどんな内容かを考察するとともに、美術、建築、東洋医学との関連を学ぶ。期間の後半は坐禅の方法や食事作法についても修得してもらう。 【授業内容】 9月7日(水)、8日(木)、9日(金)3日間の集中講義(オムニバス)として行なう。 詳細は時間割表、掲示に注意すること。 1. 禅の思想 2. 禅の修行 3. 禅と美術 4. 禅の建築 5. 仏教の修行生活 6. 禅の語録 7. 禅と東洋医学 8. 坐禅指導 9. ～12. 坐禅実習 13. 本山妙心寺での食事、諸堂拝観 14. ～15. 坐禅実習			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
23	佛教大学	京を守る　生命を守る～京都の水害と治水～	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	植村　善博	キャンパスプラザ京都	A016	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8 月 30 日 (火) ～9 月 1 日 (木) 1 ～5 講時 9 時 00 分～17 時 50 分	・以下の教科書が指定されています。 『京都の治水と昭和大水害』植村善博（文理閣）		
	内容			
	【成績評価】 定期試験（課題）100% 【講義概要】 京都における水害の発生危険度は極めて高い。そこで，京都の地形や河川の特徴，治水思想と事業の変遷を明らかにする。とくに，室戸台風および昭和大水害の事例を詳細に分析して，発生要因と地域性，復旧・復興過程の特徴を考察する。 【到達目標】 講義を通じて，水害環境の理解と災害の発生予測，および被害軽減への取り組みができることを目標としている。 【授業内容】 第 1 回　京都の災害環境 第 2 回　水害の発生要因と水害環境 第 3 回　古代～近世の治水思想 第 4 回　明治～大戦期の治水と利水思想 第 5 回　現代の治水思想 第 6 回　京都盆地の地形と河川の特徴 第 7 回　鴨川の水害と治水神 第 8 回　水害多発地域と禹王信仰 第 9 回　桂川・宇治川の地形と水害 第 10 回　室戸台風の被害と記念碑 第 11 回　昭和 10 年大水害の発生要因と地域的特徴 第 12 回　復旧・復興と京都市および市民の対応 第 13 回　鴨川の改修計画と実施 第 14 回　改修事業と集落移転の事例 第 15 回　まとめ			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
24	立命館大学	VB 特殊講義「関西の 21 世紀学」／PY	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	清水　直樹　他	キャンパスプラザ京都	H002	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9 月 13 日(火)～9 月 17 日(土) 1～3 時限：9:00～14:10	・履修決定後、履修登録手続きが必要です。履修決定者の皆さんに、グローバルエデュケーションセンターから連絡をしますので必ずその指示に従ってください。履修登録を行わなかった場合は、履修することができません。		
	内容			
	【成績評価】 出席および小テストによって評価する（100%）。小テストは数回行う予定。 小テストの内容は、講義中に説明されることが基本となる。 ※遅刻・私語等は減点対象となる。剽窃等に対しては厳しく対応する。 【講義概要】 関西は 21 世紀にどう輝けるのか。 20 世紀から 21 世紀にかけて大きく輝いた関西地域が抱える特 有の課題について、21 世紀の政策規範・政策構想・政策研究にかんがみ、多角的に検討する講 義である。21 世紀が抱える課題は政治学、経済学、国際関係学、環境科学等の複合的なアプローチでなければ解決できない。特に関西が抱える固有の課題として、広域行政や大都市制度の課題、様々な社会問題、都市公害等の課題、歴史と伝統の継承の課題、沖縄・東アジアとの経済的あるいは歴史的側面での紐帯等があげられる。これらの課題を 21 世紀学の観 点からとらえなおし、政策分析・政策構想・政策研究の３つの側面から 21 世紀の関西を理解し、関西の課題と「輝き方」を模索する。 【到達目標】 多角的なアプローチを用いて 21 世紀の関西が直面する課題を検討する 【授業内容】 1 ～ 3　20 世紀における関西の政策課題の歴史的変遷と現状 ＜キーワード＞ 21 世紀の関西の卓越性・その可能性、未来学、ローカリズム 地方創生 4 ～ 6　21 世紀の政策研究と関西：都市公害の歴史と現代的課題について ＜キーワード＞ 都市公害　環境再生　アスベスト　ストック災害　被害予防・補償・救済 7 ～ 9　21 世紀の関西の政策分析：地方政治行政の検討を中心に 村松岐夫編『テキストブック地方自治第 2 版』（東洋経済新報社、2010 年）、稲継裕昭『地方自治入門』（有斐閣コンパクト、2011 年）、川人貞史他『新版現代の政党と選挙』（有斐閣アルマ 2011 年）、建林正彦他『比較政治制度論』（有斐閣アルマ、2008 年）、砂原庸介『大阪』（中公新書、2012 年） 10 ～ 12　 21 世紀の関西の国際政策の構想 ＜キーワード＞渡来人　在日韓国・朝鮮人　在日華僑　中華街　阪神間モダニズム 13 ～ 15　関西の一都市から見た関西の姿 関西の一自治体の課題・・・議員活動を通じて 関西の一都市から見た関西の姿 ※上記のほか、講義中に以下の参考図書について、各担当者が指示することがある。 ・関西のポテンシャル　塩沢由典　晃洋書房　1～3 回 ・テキストブック地方自治　村松岐夫編　東洋経済新報社　7～9 回 ・地方自治入門　稲継裕昭　有斐閣　7～9 回 ・新版現代の政党と選挙　川人貞史他　有斐閣　7～9 回 ・比較政治制度論　建林正彦他　有斐閣　7～9 回 ・大阪　砂原庸介　中央公論新社　7～9 回 ・環境経済学　新版　宮本憲一　岩波書店　4～6 回 ・西淀川公害の 40 年 ： 維持可能な環境都市をめざして　除本理史，林美帆編　ミネルヴァ書房　4～6 回			

	・アスベスト汚染と健康被害　第2版　森永謙二編　日本評論社　4～6回 ・終わりなきアスベスト災害 : 地震大国日本への警告　宮本憲一他編　岩波書店　4～6回 ・阪神学事始　河内厚郎　神戸新聞総合出版センター　10～12回 ・近代日朝関係史　趙景達　有志舎　10～12回 ・大王から天皇へ　日本の歴史03　熊谷公男　講談社学術文庫10～12回

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
25	立命館大学	VB特殊講義「若者の選挙参加」／PZ	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	村山　皓	キャンパスプラザ京都	H009	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9月6日（火）～9月9日（金） 1～4時限（9:00～16:00） ※9月9日（金）のみ1～3時限（9：00～14：10）	・履修決定後、履修登録手続きが必要です。履修決定者の皆さんに、グローバルエデュケーションセンターから連絡をしますので必ずその指示に従ってください。履修登録を行わなかった場合は、履修することができません。		
	内容			
	【平常点評価】政策提案を含むレポートで成績評価する（100%）。 【講義概要】 講義の名称は「若者の選挙参加」である。近年、国政、地方選挙ともに投票率は低下傾向にあり、特に若者の投票率は低く、２０歳代の有権者の３人に１人しか投票に行かない現実がある。そこで、若者の投票行動に注目して、選挙参加の低迷の原因を探り、選挙を基盤とする民主主義のための処方箋を考えることは、今日の重要な政策課題である。この授業は、大学での学習を通じて、京都における選挙への若者の参加についての政策提案を行うことを目指す実践的な内容となっている。具体的には、京都市政や選挙に関わる行政の機能についての知識の獲得、人々の投票行動のデータ分析の技法の習得、メディアの選挙報道や選挙啓発活動への理解などによって、若者への選挙啓発の政策提案を学生一人一人が作成する。 【到達目標】若者の選挙参加の低迷の政策課題について、研究を基盤とする政策提案の手法を学ぶ。 【授業外学習の指示】 数学や統計学の知識が特に必要なわけではないが、投票行動のデータの分析をも学ぶ授業内容になっている。 【受講および研究に関するアドバイス】集中講義なので、授業を欠席するとついていけなくなる。 【授業内容】 1　選挙と民主主義 選挙を取り巻く最新の課題、政治参加と政治動員 2　選挙に関わる行政と政策 選挙管理委員会、明るい選挙推進協議会 3　京都における若者の選挙参加（集積データと標本調査データ） 京都市民の投票行動についてのデータ、日本国民の投票行動についてのデータ 4 ～ 7　投票行動のデータ分析（京都市民の投票行動－京都市議会議員選挙での明るい選挙推進協議会調査－） データ分析の実践①②③④ 8　日本の選挙とアメリカ合衆国の選挙 有権者登録、投票用紙、選挙公報、投票所設置などの具体的な比較 9　選挙とメディア 選挙報道、選挙広報、マニフェスト 10 ～ 12　政策提案作成の実践 投票行動のデータ分析の結果などの研究を基盤とする政策提案の手法 13 ～ 15　若者の選挙への参加の促進に向けての政策提案の発表会①②③			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
26	立命館大学	キャリア形成特殊講義「ユースサービス概論～わかものを元気にする仕事～」／SG	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	水野　篤夫	キャンパスプラザ京都（注）	E005	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9 月 6 日（火）～9 月 10 日（土） 3～5 時限：12:40～17:50	・（注）9 月 8 日（木）と 9 月 9 日（金）は、キャンパスプラザ京都ではなく、終日ユースワークの現地授業を予定しています。2 日間とも、現地集合・現地解散とします。詳しい場所などは授業時に指示します。 ・履修決定後、履修登録手続きが必要です。履修決定者の皆さんに、グローバルエデュケーションセンターから連絡をしますので必ずその指示に従ってください。履修登録を行わなかった場合は、履修することができません。 ・以下の教科書が指定されています。 『若者の居場所と参加』田中治彦著（東洋館出版） ・参考となるページが紹介されています。 京都市ユースサービス協会ウェブサイト　http://www.ys-kyoto.org		
	内容			
	【成績評価】 最終日に行う企画提案内容及び、授業における積極的な参加を見る（100%）。 【授業の概要】 “若者はどうやって「大人」になれるのか”、見えにくい時代になっています。その中で、若者が生きやすい社会づくりを目指す、学校外での教育・支援の取組（ユースサービス・ユースワーク）が重要さを増しています。この授業では、そうした若者と関わる現場で働く多様なスタッフを招いてお話を聞き、現場を訪問しながら、若者の成長支援の“新しい仕事”のあり方を学ぶとともに、そのための基盤となる「若者学」について受講の皆さんとともに考えていきます。 ※9月8日（木）と9月9日（金）は、キャンパスプラザ京都ではなく、終日ユースワークの現地授業を予定しています。２日間とも、現地集合・現地解散とします。詳しい場所などは授業時に指示します。 【到達目標】 ◯学校外の若者の学びや成長支援の多様な課題とあり方を理解する。 ◯若者の成長支援に携わる専門スタッフの仕事について知る。 ◯若者を巡る問題を包括的に考える「若者学」について考える。 【受講および研究に関するアドバイス】 ◯実践現場で働くスタッフやスペシャリストをゲストに招いてお話を聞く。 ※シラバスのテーマ順をゲストの都合により組み替える場合あり。 ◯現場訪問を組み込み、実際の事業現場を見てもらう機会をつくる。 ◯グループでのディスカッションや共同作業を取り入れて進めるので積極的な参加を求める。 【授業内容】 1　ユースサービス（ユースワーク）とは何か？（水野　篤夫） 2 ～ 3　子どもや若者に関わる社会的課題を考える（水野他） 4　子どもや若者の貧困とＮＰＯ活動（幸重　忠孝：幸重社会福祉士事務所） 現地授業の予定 5　若者とセクシャルヘルス＝性や身体の健康（斉藤真緒：立命館大学／ＹＳ協会ユースワーカー） 現地授業の予定 6　若者と非行（谷口　肇：法務省法務教官）※予定 現地授業の予定 7　若者と雇用＝職業的自立支援の活動（若者サポートステーションの取組から）			

	現地授業の予定 8　ユースワークの実際＝青少年活動センターの事業から①（YS 協会ユースワーカー） 現地授業の予定 9　ユースワークの実際＝青少年活動センターの事業から②（ＹＳ協会ユースワーカー） 現地授業の予定 10　若者とメンタルヘルス（知名　純子：まるいクリニック医務部長／ＰＳW）※予定 11　若者とシチズンシップ（川中　大輔：シチズンシップ共育企画） 12　企画を考える（グループ分け・準備）＝現代における若者を巡る社会課題とは？ 13 ～ 14　若者の成長支援のための新しいサービスを考える（企画会議） 15　企画発表＝若者の成長支援のための新しいサービス

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="6">27</td><td>立命館大学</td><td>特殊講義「運動と栄養と暮らしをエネルギーから考える」／ZB</td><td>2 年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>海老　久美子</td><td>キャンパスプラザ京都（注）</td><td colspan="2">F001</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>8 月 30 日（火）～9 月 2 日（金）
8 月 30 日（火）：2～4 時限
（10:50～16:00）
8 月 31 日（水）、9 月 1 日（木）：
1～4 時限（9:00～16:00）
9 月 2 日（金）：
大阪ガス施設で実施。</td><td colspan="3">・調理実習費用 1,500 円が必要です。
・（注）9 月 2 日（金）のみ大阪ガス施設で実施します（授業中に指示）。
・履修決定後、履修登録手続きが必要です。履修決定者の皆さんに、グローバルエデュケーションセンターから連絡をしますので必ずその指示に従ってください。履修登録を行わなかった場合は、履修することができません。</td></tr>
<tr><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td colspan="4">【成績評価】全授業出席者のみを評価の対象とする。評価は以下で行なう。
1）毎回の授業の終わりに実施する小テスト（６０%）
2）最終レポート（４０%）
【講義概要】
人が生きていくためにはエネルギーが必要である。脳や身体を動かすためにはエネルギーを消費し、その分のエネルギーを私たちは食べることで摂取している。また、生きるための暮らしの中でも、色々なエネルギーが必要であり、そのためのエネルギーを生産している。ここでは、これら人が生きていくために必要なエネルギーという視点から、運動と栄養と暮らしについて考える。
【到達目標】
以下の視点からエネルギーを理解することができる。
1）運動の視点から人の消費エネルギーについて、運動の種類によるエネルギーの違い、エネルギー消費量の測定方法を理解できる。
2）栄養の視点からエネルギー源となる三大栄養素について、またそれらと微量栄養素の関係について理解できる。
3）暮らしの中のエネルギーについて、その種類、生産と消費、エコロジー等について理解できる。
4）生活の中で実際にどのようにエネルギーを使っているのかについて理解できる。
【授業内容】
1　エネルギーについて考える：ガイダンス（担当；立命館大学／大阪ガス株式会社）
2　暮らしの中のエネルギー　（担当；大阪ガス株式会社）
3　エネルギーの作り方（担当；大阪ガス株式会社）
4　エネルギーの使い方（担当；大阪ガス株式会社）
5　運動の消費エネルギー（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　藤田教授）
6　有酸素運動・無酸素運動（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　藤田教授）
7　身体の消費エネルギー量の測定方法（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　家光教授）
8　運動と暮らしの中の身体活動の消費エネルギーについて（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　家光教授）
9　食事の摂取エネルギー（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　海老）
10　エネルギー源となる三大栄養素について（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　海老）
11　微量栄養素とエネルギーの関係（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　海老）
12　身体活動と食事の関係（担当；立命館大学スポーツ健康科学部　海老）
13　暮らしの中のエネルギーを測定する（実習；会場 Hug+M／担当；大阪ガス株式会社）
14　調理を通じてエネルギーを考える（実習；会場 Hug+M／担当；大阪ガス株式会社）
15　これからのエネルギーを考える（会場 Hug+M／担当；大阪ガス株式会社・立命館大学スポーツ健康科学部）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="5">28</td><td>立命館大学</td><td>特殊講義「現代社会のなかの教育と学び」／ZG</td><td>2 年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>鳥居　朋子</td><td>キャンパスプラザ京都</td><td colspan="2">E006</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>9 月 6 日（火）～9 月 9 日（金）
1～4 時限（9：00～16：00）

※最終日の 9 月 9 日（金）のみ、
1～3 時限（9：00～14：10）</td><td colspan="3">・以下の参考書・参考となるページが指定されています。
『「学ぶ」ということの意味』佐伯胖　岩波書店
『よくわかる青年心理学』白井利明編　ミネルヴァ書房
『よくわかる学びの技法』田中共子編　ミネルヴァ書房
『教育から職業へのトランジション』山内乾史編著　東信堂
『教育と平等』苅谷剛彦　中公新書
『軋む社会ー教育・仕事・若者の現在』本田由紀　河出書房新社
『現代青年期の心理学』溝上慎一　有斐閣
『高等教育質保証の国際比較』羽田貴史・米澤彰純・杉本和弘　東信堂
『大学の学びー教育内容と方法ー』杉谷祐美子編集　玉川大学出版部
（リーディングス日本の高等教育第 2 巻）
『「学び」から逃走する子どもたち』佐藤学　岩波書店 岩波ブックレット
Cinii　http://ci.nii.ac.jp/
論文検索のためのサイトです。気になるキーワードをもとに検索してみましょう。さらに、活用方法を図書館で尋ねてみましょう。
文部科学省　http://www.mext.go.jp/
白書や学習指導要領といった教育政策の基本情報を確認することができます。
国立教育政策研究所　http://www.nier.go.jp/index.html
政策判断の基礎になる調査研究を実施している機関です。自分の関心のあるテーマに関する調査結果を見つけることができるはずです。サイト内検索を活用してください。
財団法人　日本青少年研究所
http://www1.odn.ne.jp/youth-study/index.htm
国際比較調査の結果などを見ることができます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td colspan="4">【成績評価】
※3 分の 2 以上の授業に出席し、ミニペーパーおよび最終レポートを提出した者のみを成績評価の対象とします。ただし、いわゆる「出席点」の加点は行いません。
・毎回の授業の終わりにその日のテーマに関してミニペーパーを課します（400～500 字程度、3 点×15 回＝45 点）。到達目標 5 に対応し、現代社会の教育と学びに関して興味関心を持ち主体的に問いを立て、多様な他者の意見を尊重し、考える態度を示していることが評価の基準となります。
・到達目標 1～4 に対応して、最終レポートとして現代社会の教育と学びに関するレポート課題を出します（55 点）。①人間の教育や学習、発達の原理について説明できている、②今日の教育や学びを取り巻く状況について歴史的な視点から解説できている、③現代社会における教育や学びの課題を国際的な視点から説明できている、④自己および他者の教育や学びの経験をふまえて、自己形成のプロセスを客観的に捉えようとしている、を基準とし評価を行います。最終レポートは、最終回の授業中に提出してもらいます。
【講義概要】
現代社会における人びとの教育や学びは、学校や大学という場だけで展開されている営みではありません。とかく人は自分が教えられた通りにしか教えられない、と言われるように、自己が経験した教育や学び以外のものをイメージすることは難しく、ともすれば視野が狭くなりがちです。本授業は、教育とは何か、人間が教え学ぶとはどういうことなのか等の問いに対して、歴史や国際比較等の視点から迫りながら、最終的に受講生自身がどのような教育や学びを経て成長してきたのかを捉えなおすことを目指します。すなわち、自己形成のプロセスを客観視することと言ってよいでしょう。具体的には、人間の教育や学び、児童・青年期の発達といった原理的なことから、今日の学校・大学をはじめ、家庭・地域や職場等が直面している教育をめぐる問題まで広く取り上げま</td></tr>
</table>

す。各回の授業では、グループ・ディスカッション、ペア・ワーク、ミニ・プレゼン等の、異なる大学や異年齢の多様な学生同士が協力して行う学習活動を組み入れます。

【到達目標】

1. 人間の教育や学習、発達の原理について説明できる。
2. 現代社会における教育や学びを取り巻く状況について歴史的な視点から解説できる。
3. 現代社会における教育や学びの課題を国際的な視点から説明できる。
4. 自己および他者の教育や学びの経験をふまえて、自己形成のプロセスを客観的に捉える。
5. 多様（大学・専門分野・学年）な学生で構成される集団の中で他者を理解し、共に学び合う雰囲気の醸成に貢献する。

【授業外学習の指示】

毎回の授業を自分の問題関心に照らしながら聴くとともに、積極的な質問や文献検討、新聞記事や各種メディアからの情報収集等に努めてください。とくに、関心あるテーマについて書籍や新聞、インターネット等で自主的に調べ、十分な授業外学習によって学習成果を高めてください。

【受講および研究に関するアドバイス】

本授業は、異なる大学や異年齢の受講生同士が協力して形づくっていく内容になっています。受動的な学びではなく、学生間、学生－教師間の応答機会の多い双方向的な授業を行います。講義を聴いて内容を理解するだけではなく、グループでの議論や発表、演習に積極的にかかわり、主体的に授業に参加してください。また、各自が興味関心を持った個々のテーマについて、自分自身で掘り下げて考える習慣を身につけましょう。教育関係職を志望している人はもとより、人間の教育や学びに関心があるという人の積極的な受講を歓迎します。

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

manaba+R ／ Learning Management System （manaba+R）

学生との直接対話／Talk with Students

【備考】

・障がいをもった学生の学習支援：障がいをもった学生は、すみやかに担当教員に連絡してください。学習を支援できるようなクラス環境や授業方法について検討します。

・不正行為：大学での不正行為とは、カンニング行為によって自分の能力を不正確に伝えたり、他人の論文などを剽窃したりすることで他人の権利を侵害することなどがあたります。万が一、不正行為があった場合は、大学の規則にそって対応します。

・受講のルール：他の受講者の学習環境を阻害するような行動をとる者に対しては、履修を取り消すように求めることがあります。授業への遅刻、途中退出、私語や携帯電話・メールの使用など、他者の迷惑になるような行動をとらず、マナーを守ってください。皆が気持ちよく学べる環境づくりをしましょう。

【授業内容】

1　イントロダクションおよび現代社会における教育と学びへのいざない

※成績評価等の重要事項を説明するため、必ず出席すること

自己紹介、授業の到達目標・授業の進め方・成績評価方法等の説明、各回の授業概要の説明と現代社会における教育と学びへのいざない

２　人間の発達

生理的早産、発達課題、アイデンティティ

3　教えることと学ぶこと

「学習」と「学び」、「まねる」ことと「学ぶ」こと

4　学校という存在①

学校の起源と歴史、様々な指導形態、諸外国の学校制度

5　学校という存在②

学校マネジメント、教授・学習過程、児童・生徒の問題行動

	6　家庭・地域での教育 しつけ、社会教育、コミュニティーと教育 7　中間プレゼン 自己形成プロセスの整理と共有、影響要因の分析、リフレクション 8　おとなの学び アンドラゴジー、応用の即時性、経験の学習資源化 9　職場での学び 学習組織、研修、シャドーイング 10　教育の国際化 グローバル化、知識基盤社会、カリキュラムの国際化 11　高等教育の質保証 諸外国における高等教育政策の動向、学位の共通性・互換性、学習成果 12　大学という存在 大学の起源と歴史、大学の基本機能、ユニーバーサルアクセスと多様性 13　生涯学習 学校種を超えた連携、学社融合、リカレント教育 14　特別なニーズ教育 障がいを持った子どもの処遇、インクルージョン、特別支援教育 15　まとめと最終プレゼン／現代社会の教育と学びの将来展望 自己形成プロセスの振り返り、最終プレゼン

<table>
<tr><td>No</td><td>科目開講大学</td><td>科目名</td><td>配当年次</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="6">29</td><td>立命館大学</td><td>特殊講義「現代人に求められるコミュニケーションスキル」／ZC</td><td>2 年以上</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>授業会場</td><td colspan="2">科目 CD</td></tr>
<tr><td>林　徳治</td><td>キャンパスプラザ京都</td><td colspan="2">E007</td></tr>
<tr><td>授業期間</td><td colspan="3">注意事項・費用等</td></tr>
<tr><td>8 月 5 日（金）～7 日（日）、
8 月 9 日（火）
3～6 時限（12:40～19:40）

※8 月 9 日（火）のみ、
3～5 時限（12:40～17:50）</td><td colspan="3">・履修決定後、履修登録手続きが必要です。履修決定者の皆さんに、グローバルエデュケーションセンターから連絡をしますので必ずその指示に従ってください。履修登録を行わなかった場合は、履修することができません。
・以下の教科書が指定されています。
『教学改善のすすめ』林徳治　他著（ぎょうせい）
『相互理解を深めるコミュニケーション実践学』
沖裕貴　他著（ぎょうせい）
※テキストは、当日用意するので代金を用意すること</td></tr>
<tr><td colspan="4">内容</td></tr>
<tr><td colspan="4">【成績評価】
レポート 50%：実施したそれぞれのコミュニケーション演習の目的、演習内容、結果、気づきと改善点の項目について小レポート、最終レポートを総合的に評価する。
平常点 50%：出席による参画態度、意見等の発信・交換（SNS、メール含む）、プレゼンの相互評価を総合的に評価する。
【講義概要】
スマホや電子タブレットなど携帯情報端末が浸透した ICT（情報通信技術）社会において、コミュニケーション活動でのトラブルが社会問題になっている。本授業では、私たち人間の相互理解のための現代のコミュニケーション活動(言語、非言語、メディア活用)を見直し、ものごとを論理的に考える力、相手を受容・洞察する力、モラルや自己責任、正しく表現・伝達するプレゼン力などの演習をアクティブラーニングにより実施する。成果発表として個人またはグループ毎の中間・最終プレゼンを実施し相互評価する。
【受講生の到達目標】
1. コミュニケーション能力を構成する要素について説明できる
2. コミュニケーション能力の各演習を計画－実施－評価－改善（Plan-Do-Check-Action；PDCA）できる
3. グループワークにおいて主体的に参画し、独創的に取り組むことができる
4. 「わかる」「楽しい」「ためになる」プレゼンの計画－実施－評価－改善ができる
5. ICT 社会でのコミュニケーション活動の特徴（利点、欠点）を説明でき、日常生活に生かすことができる
【事前に履修しておくことが望まれる科目】
以下のコミュニケーションのためのデジタル WEB 教材（VOD）を視聴しておくと授業導入に役立つ。
http://www.hayashi-tokuji.com/td-ict/index.html
【授業外学習の指示】
facebook など SNS を利用した発信、情報共有のコミュニケーション活動を授業外学習で行うので主体的な学習姿勢で臨むこと。
【受講および研究に関するアドバイス】
・テキストは、当日用意するので代金を用意すること
・SNS を活用し、受講生間での情報の共有を積極的に行うこと
・プレゼンや SNS を通し、責任ある発信力を習得できるようにすること
・IT 企業等が開催するイベントに参加して、実際のプレゼンや接客の言動や態度（コミュニケーション能力）を体得すること
・グループ演習のため、他のメンバーに迷惑をかける遅刻や無断欠席はしないこと
【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】</td></tr>
</table>

	コミュニケーションペーパー／Communication Paper 学生との直接対話／Talk with Students その他 ／ Other ・e メールによる個人間でのコミュニケーション ・SNS による受講者と教員間でのコミュニケーション 【その他】 昨年度は、関東の学生（早稲田）や関西の複数大学からの受講がありました。 グループワーク中心で行いますから、主体的な態度で学習に臨んでください。 【授業内容】 1 ～ 3　ガイダンス グループ作り、メンバー紹介、学習内容の確認、役割分担の決定 各グループでの演習課題の選択 コミュニケーション能力の向上に役立つ要素についての講義 4 ～ 8　グループ毎で選択したコミュニケーション演習のアクティブラーニング（計画－実施－評価－改善 グループ討議、学びの整理、小レポート作成 9　中間プレゼンによる相互評価 評価シート結果の集計、グループ討議、小レポートの作成 10 ～ 14　グループ毎で選択したコミュニケーション演習のアクティブラーニング（計画－実施－評価－改善） 評価シート結果の集計、グループ討議、学びの整理、小レポート作成 15　最終プレゼンによる相互評価 これからの社会で求められるコミュニケーション能力についての討議 教員からのコメント、助言 まとめ

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
30	立命館大学	特殊講義「復興デザイン論」／ZJ	2 年以上	2
	担当教員	授業会場	科目 CD	
	山口　洋典	キャンパスプラザ京都	H010	
	授業期間	注意事項・費用等		
	9 月 6 日（火）～9 月 9 日（金） 2～5 時限（10:50～17:50） ※9 月 9 日（金）のみ 3～5 時限（12:40～17:50）	・履修決定後、履修登録手続きが必要です。履修決定者の皆さんに、グローバルエデュケーションセンターから連絡をしますので必ずその指示に従ってください。履修登録を行わなかった場合は、履修することができません。 ・以下の教科書が指定されています。 復興〈災害〉:阪神・淡路大震災と東日本大震災　塩崎 賢明　岩波書店(岩波新書) ソーシャル・イノベーションが拓く世界: 身近な社会問題解決のためのトピックス 30　西村 仁志　法律文化社 東北発の震災論：周辺から広域システムを考える　山下 祐介　筑摩書房(ちくま新書) 災害ボランティアの心構え　村井 雅清　ソフトバンククリエイティブ 地震イツモノート：阪神・淡路大震災の被災者 167 人にきいたキモチの防災マニュアル　地震イツモプロジェクト　ポプラ社		
	内容			
	【成績評価】 レポート試験 50% 論理の一貫性はもとより、講義の感想ではなく「事実」に基づいた「意見」が述べられていることを重視する。なお、レポートについては招いたゲストにも、後にお目通しをいただく予定である。受講生から現地へのメッセージを織り込んで欲しい。 平常点 50% 講義では理論的観点を学び、ゲストからの話題提供を踏まえて、「復興デザイン」に関するグループディスカッションを行う。よって、その内容の熟度は最終プレゼンテーションに反映される。グループ間の相互評価、またグループ内の自己評価の双方を、評定への素材とする。 【授業概要】 「災害は忘れた頃にやってくる」と言われるように、再起的に発生し、その都度、物理的・精神的に広範な被害をもたらすものである。そして、その都度、人々は被災の経験から学んだ知恵を伝承し、次の災害に備えてきた。近年は災害を「防ぐ」という発想よりも、発生時の被害を「減らす」という視点で、地域単位の「防災」計画から、地域ぐるみの「減災」活動へと、災害への備え方が変化してきている。よって、発災前の防災・減災モードでも、災害発生時の支援モードでも、知識の適切な理解と、各地の経験を踏まえた確実な実践の相乗効果が求められる。 そこで本講義「復興デザイン論」では、東日本大震災からの復興の過程にあることを鑑み、被害を受けた地域の「これまで」と「これから」を結ぶワークショップ形式での学びの場を創出する。とりわけ、東日本大震災を前後して、立場の違いを超えた当事者どうしのコミュニケーションによって、よりよい関係性の創出を導く「コミュニティデザイン」に注目が集まっている。よって、現場でのコミュニティデザインの担い手たちをゲストに招き、現地の未来像を提示いただきつつ、我々の日常への問題提起を受けとめる機会を設ける。理論的観点の講義、実践からの事例検討、そして受講生どうしの対話を通じて、復興プロセスのデザインを総合的に理解し、現在進行形の社会問題への関心が高まることを期待している。 【到達目標】 災害復興の「サイクル」を理解した上で、現地で展開される多様な「プロセス」を実感できるようになる。 被災地との距離にかかわらず、復旧から復興への移行を「我が事」として捉えられるようになる。 災害ボランティアの波及効果として生じる、次の災害に向けた「恩送り」の実践に参加する。			

【授業外学習の指示】
履修が決定した後には、地震・震災・災害・防災・減災などについて、可能な限り一次情報に触れて欲しい。一次情報と二次情報の区別については、安宅和人『イシューからはじめよ：知的生産の「シンプルな本質」』(英治出版、2010年）に詳しい。現地に赴く、現地を離れて暮らす人に話を伺う、ボランティアの経験者と語る、といったことが難しい場合もある。その場合は、もちろん、新聞やテレビやインターネットのニュース、その他、映画などを通じて多様な二次情報を得る習慣を持ち、続いていくことを願う。
【受講および研究に関するアドバイス】
言うまでもなく大学での学びは、単に「業（わざ）を授かる」だけでは得られない。よって、「授業」に出席するだけでは、上記に示した概要について理解することは困難である。逆に言えば、欠席したことによって得ることができなかった情報や知識を、後に個人で得ようと思えば、相当の時間と努力を必要とする。今、このときも、遠く離れた場所で困難な日常を生きている人たちに思いを馳せ、真摯な学びへの意欲を駆り立てて欲しい。
【参考になる WWW ページ】
立命館災害復興支援室　http://www.ritsumei.ac.jp/rs/20110311/
日本災害復興学会　http://www.f-gakkai.net
google　http://www.google.co.jp
【授業内容】
1　プロローグ：距離と時間を結ぶ思考の深化　：被災と復興
2　2つの震災を見つめて(1)：震災は何を奪うのか？：復興と計画
3　2つの震災を見つめて(2)：震災は何を生み出すのか？：復興と文化
4　グループディスカッション(1)：論点抽出とグループ分け：復興と関心
5　リーディングセッション(1)：伝承された記録との対話　：復興と記録
6　グループディスカッション(2)：復興過程に携わる学生との対話：復興と学生
7　グループディスカッション(3)：支援者を支援する活動への理解　：復興と制度
8　リーディングセッション(2)：中間まとめ　：復興と物語
9　ゲストトーク(1)：ものづくりと復興　：復興と資源
10　ゲストトーク(2)：意思決定と復興　：復興と政治
11　ゲストトーク(3)：アートプロジェクトと復興：復興と芸術
12　ゲストトーク(4)：グリーフサポートと復興　：復興と宗教
13　グループディスカッション(4)：シナリオプランニング：復興と目標
14　グループディスカッション(5)：バリューイノベーション：復興と価値
15　エピローグ：プレゼンテーションと次の一手　：被災と原発

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
31	龍谷大学	現代俳句講座	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	岩城　久治　他	龍谷大学（深草学舎）	C182	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8月8日(月)～8月10日(水)・ 8月19日(金) 8月8日：1～4講時 9時00分～16時30分 8月9日：1～5講時 9時00分～18時15分 8月10日、8月19日： 2～4講時 10時45分～16時30分	・資料(「入門俳句歳時記」角川書店刊）費用および吟行（実習）の交通費が発生します。 ・資料(「入門俳句歳時記」角川書店刊は、授業初日に販売します。 ・授業初日の教室は、別途案内します。		
	内容			
	【成績評価】 吟行参加・俳句会選者入選成績及び出席状況を重視して評価する。 【講義概要】 俳句は、季語を必要とする１７音の定型詩であることを前提にして、実作を重視した講座としたい。きらきらとかがやく若者の感性を１７音の器に入れて、新鮮な俳句づくりに挑んでほしい。とくに、自然ゆたかな宇治を吟行して、若者の息吹の、血の通った俳句を作ってほしい。 この講座を担当する公益社団法人俳人協会は、俳句伝統の正しい発展を目的として、昭和３６年に設立された文芸団体です。俳句の伝統の正しい発展を若い人々に継承してもらうことを念願としています。 【講義方法】 講座の内容は、俳句理論の講義と吟行（学外で自然に触れ、実作する)、実作（俳句会）とする。 【授業内容】 【1日目】: 8月8日(月）9時00分～16時30分 1講時：俳句のはじめ(担当：富吉 浩) 2講時：俳句は詩……感動を俳句に、大切な表現(担当：辻田 克巳) 3講時：自然と俳句……環境問題にかかわって(担当：茨木 和生) 4講時：学生俳句は今(担当：井上 弘美) 【2日目】: 8月9日(火）9時00分～18時15分　　※午前9時00分 京阪電車宇治駅に集合 1～5講時：宇治吟行と俳句会 （担当：井上 弘美・茨木 和生・岩井 英雅・岩城 久治・田中 春生・辻田 克巳ほか) 【3日目】: 8月10日(水)　10時45分～16時30分 2～4講時：俳句実作と俳句会 （担当：井上 弘美・茨木 和生・岩井 英雅・岩城 久治・田中 春生・辻田 克巳ほか) 【4日目】: 8月19日(金）10時45分～16時30分 2講時：「現代文学としての俳句」（担当：彌榮 浩樹) 3講時：「女性俳人群像」（担当：倉橋みどり) 4講時：二つの俳句会から……表現力を身につけるには(担当：岩城 久治)			

No	科目開講大学	科目名	配当年次	単位数
32	龍谷大学短期大学部	高齢者・障害者の心理	2年以上	2
	担当教員	授業会場	科目CD	
	吉島　紀江	龍谷大学（深草学舎）	F116	
	授業期間	注意事項・費用等		
	8月3日(水)～8月5日(金) 1～5講時　(9:00～18:15)	・授業初日の教室は、別途案内します。 ・以下の参考書が指定されています。 渡部俊之著『ケアを受ける人の心を理解するために』（中央法規） 鈴木秀子『心の対話者』（文春新書） 佐藤真一　他2名『老いとこころのケア』（ミネルヴァ書房）		
	内容			
	【成績評価】 平常点　５０％（出席状況と受講態度・演習等の受講姿勢等） レポート３５％（最終講義にて、レポートを作成） その他　１５％（リアクションペーパー） 【講義概要】 日本において高齢化率はすでに23%をこえ、超高齢社会に突入している。一方、障害者に関しても医療技術・機器・救急医療の進歩などによりその人口は増え続けている。高齢者、障害者の人口は増え、その福祉ニーズ、医療・介護ニーズも加速度的に肥大化している。この講義では、日本における高齢者・障害者のおかれている現状を踏まえながら、その心理・行動に焦点をあて理論的な整理を行う。また、介護サービスを受けている高齢者・障害者の事例を通して、その心理と行動について分析・検討し、理解を深めたい。 日本の高齢者・障害者のおかれている現状を、各種統計等を見ながら客観的に把握し、日本独特の課題を明らかにしていく。心理的な理論解釈や医学的理解、社会学的理解を深めていく。高齢者・障害者の心理的援助とその関わり方についても深めていく。事例を通して、実際に介護サービスを受けている事例で、援助をうけている高齢者・障害者の心理的な理解を深め、かつ、援助者の関わり方についても検討していく。 【到達目標】 ・高齢者・障害者の心理特性、行動特性について基礎的な理論を習得する。 ・高齢者特性、障害者特性をそれぞれ踏まえた対人援助等のあり方の基礎を習得する。 ・実際にケアを受けている高齢者・障害者の心理を理解し、そのおかれている環境・人間関係の相関で理解できるようになる。 【講義方法】 各回で資料配布し、それに基づいて講義を行う。必要に応じてグループワーク、演習、ディスカッションを行う。 【授業時間外における予・復習等の指示】 講義中に指示します。 【履修上の注意・担当者からの一言】 連続性のある講義となっています。欠席しないよう健康管理に気をつけてください。 【授業内容】 1回目：日本の高齢者・障害者：日本の高齢者・障害者を取り巻く環境や諸制度について 2回目：高齢者のおかれている状況：高齢社会白書・各種統計等からみた高齢者の実態について等 3回目：高齢者の心理Ⅰ：高齢者の身体的・心理的・社会的特性について 4回目：高齢者の心理Ⅱ：高齢期のパーソナリティと適応 5回目：高齢者の心理Ⅲ：高齢期に特徴的な複合喪失について 6回目：障害者のおかれている状況：障害者白書・各種統計等からみた障害者の実態について 7回目：障害者の心理Ⅰ：障害者の身体的・心理的・社会的特性について 8回目：障害者の心理Ⅱ：障害受容について 9回目：障害者の心理Ⅲ：障害の概念・ICFについて			

	10 回目：事例研究Ⅰ：障害者の事例 11 回目：ケアを受ける人の理解Ⅱ：要介護状態の障害者の現状について 12 回目：ケアを受ける人の理解Ⅲ：ケアワークを通じた高齢者・障害者の理解及び対人援助について 13 回目：ケアを受ける人の理解Ⅰ：要介護状態の在宅高齢者の現状について 14 回目：事例研究Ⅱ：在宅高齢者の事例 15 回目：講義全体のまとめ、レポート作成

以　上